

JCI-TC131A 性能設計対応型ポーラスコンクリートの施工標準と品質保証体制
の確立研究委員会

第7回 委員会 議事録 (案)

■日時 : 2014年9月18日(木) 13:00~18:00

■場所 : (公社)日本コンクリート工学会 第5会議室
(東京都千代田区麴町1-7 相互半蔵門ビル11F)

■資料 :

- 7-0 第7回委員会議事次第
- 7-1 第6回委員会(2014.6.18)議事録(案)
- 7-2-1 共通実験案(平岩幹事)
- 7-2-2 最終報告書「課題」まとめ(三島幹事)
- 7-2-3 室内試験方法に関する検討(空隙率試験および透水試験他)(三島幹事)
- 7-2-4 室内試験方法に関する検討(各種強度試験)(齋藤委員)
- 7-2-5 品質管理および維持管理WG資料(石田委員)
- 7-2-6 生コンポーラス品質管理試験に関する検討(伊藤委員、十文字通信委員)
- 7-3-1 中間報告会資料「都市高速トンネルにおけるポーラスコンクリート舗装の適用(高田委員)」より(梶尾幹事)
- 7-3-2 4.2.4 路面騒音低減性能(加形委員)
- 7-4 ポーラスコンクリートの性能設計(國枝幹事)
- 7-5 ポーラスコンクリート製品の現状と課題の整理(國枝幹事)
- 7-6 元近畿大学教授 玉井元治先生「ポーラスコンクリートの多機能化」(三島幹事)
- 7-7 ACI 522R-10 Report on Pervious Concrete

■出席者 : 畑中、岡本、梶尾、國枝、平岩、三島、浅野、石川、伊藤、加形、片平、木村、齋藤、杵本、鶴田、成田、麓、柳橋、高田 以上19名

■記録 : 三島

■議事 :

1. 共通実験(案)について(平岩幹事)

- ・共通実験の概要および供試体採取方法に関して、資料に基づき説明があった。
- ・事前に集まって細かな試験方法の確認を行った方がよいのでは？
- ・配合設計通りのものをできているか、均質性は確保できているか、
- ・製造・施工標準の作成に当たっては、仕様規定的な均質なポーラスコンクリートの製造過程を対象とせざるを得ない。
- ・下図の各データの関係が規定されるかどうかで管理方法が変わってくる。

- ・標準仕様書に載せられるように検討を進める。

4.3 品質保証 WG (三島 WG リーダ)

- ・生コンポーラスの品質管理試験 (伊藤、十文字) : 試験方法に関する調査段階。生コンの品質管理に不可欠と考えられる試験方法 (強度管理試験体の作成方法、ワーカビリティ評価試験方法) に絞って、基準案の作成を進める。既存の方法を参考にする。
- ・耐久性試験方法 (成田、石田) : 水流下でのすり減り試験 (ASTM C 1138-97) の紹介。その他、耐久性試験の課題抽出。重要度の高いものを選択的に規準案の作成を進める。
- ・圧縮、曲げ強度試験 (齋藤) : 曲げ強度試験方法はポーラス独自の内容が多いので規準案の作成を進める。粒径と供試体サイズの影響など。圧縮強度については、キャッピングおよび h/d の注釈が必要であるが、全体的には普通コンクリートの JIS で対応可。壁効果の影響の記述を加える。
- ・空隙率および透水試験 (三島) : 空隙率および透水係数の定義の問題点について、どのように次の報告書に反映させるか。→時間切れのためメール審議。
- ・共通試験 (平岩) : データ数が問題。参加を乞う。使用材料は問わない。公開試験を見せるか? 締固めや養生を見せるか? →統一の必要なし。共通実験の予定を委員に知らせて、希望者は見学可とする。
現状の参加予定者 : 名城大、三重大、太平洋セメント、鶴田 (一部)、
- ・三重県 (大台町) で吹き付けの予定。公開および供試体採取可。
- ・現場のコア採取だけでも可 (設計値との比較でも可)。

5. その他連絡事項

- ・今後のスケジュールの確認

第 8 回 2014/12/19 (金) WG13:00~16:00, 全体委員会 16:00~18:00 終了後忘年会

第 9 回 2015/3/10 (火) WG13:00~16:00, 全体委員会 16:00~18:00

最終報告会 2015/6/19(金) or 26(金) のいずれか。場所は東京。

(JCI 年次大会 7/12~16@幕張)